

みなさん、こんにちは。

戦後 61 年目の終戦記念日、毎日本当に暑い日が続いています。明石公園のセミたちも朝早くからミンミン、ミンと大合唱を続けています。スカッと夕立がほしいですね。No.124 で高校野球を「センバツ」と誤って書いてしまいました。夏は「選手権」ですね。

1. カラカラ～、トントン。はたおり体験

8 月 1 日(金)、この日は朝から体験学習室で「はたおり」が体験できました。経(たて)糸の間に緯(よこ)糸を通していく舟形の「杼(ひ)」を右から左に滑らせると、カラカラという軽い音が響きます。足で棒を踏み、「筈(おさ)」と呼ばれるもので手前にトントン。経糸と緯糸をしっかりと織りこむと、やっと糸一本分の幅ができあがり。現在、機織り機にかけてある糸は奄美大島の大島紬が一反分(幅 37cm・長さ 12m)。カラカラ～、トントンを何回繰り返すと織りあがるのでしよう。数えてみると新たなトリビア発見か。15:00 までに 36 人が体験しました。



左から右に杼(ひ)を滑らせると緯糸が通ります



ボランティアさんの指導



トントン、少し慣れてきたよ

年に 2 度、明石のおばあちゃんの家へ帰省するという橋本菜奈美さん(東洋英和女学院中等部 1 年)と実祐希さん(和光市立新倉小 4 年)姉妹も機織りに挑戦。おばあちゃんが見守る中、ゆっくりと機織りを楽しみました。「ちょっと難しかったけれど、楽しかったです」「今のように機械がない時代に、昔からこんな機織り機があったなんてびっくり」と話してくれました。

はたおりを体験してみよう 8 月 23 日(水) 10:00～15:00 要観覧料

2. ヒヤヒヤ、ドキドキ! 夜の博物館探検隊



8 月 12 日(土)は、午後のワークショップ「勾玉作り」のあと、18:30 から第三回夜の博物館探検隊を開催しました。予約で集まった 16 家族 46 人が懐中電灯を握りしめ、真っ暗な博物館の展示会場や地下の収蔵庫をクイズを解きながら探検しました。扉を開けるたびに、ヒヤヒヤドキドキしながら、真っ暗な中に浮かび上がる展示資料や収蔵資料をじっくりと見学しました。



タコつぼのくくり方は?



お母さん、本当に入るの?



さあ、入るよ! うーん、いやや～

探検隊クイズから 1 問出題: タコつぼは、潮の流れや海底の状態によってつぼ縄のくくり方を変えました。流れの速い林崎や江井島では何ぐくりでしょうか? 次からひとつ選んでください。

1. 口ぐくり 2. つりがねぐくり 3. たいこぐくり